2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ（Fieldwork of Social Work Ⅱ）		
ナンバリングコード	E30908	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 応用科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 通年
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049401	クラス名	－
担当教員名	橋本　拓、鍋田　耕作、河村　裕次、大谷　明弘		
履修上の注意、履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。 実習計画書を綿密に作成し，有意義な実習とするよう心がける必要があります。将来の社会福祉の担い手としての期待に応えられるよう，真剣に取り組んでください。		
教科書	監修：日本福祉大学社会福祉実習教育センター 「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」中央法規出版　2015年3月		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	相談援助の基盤と専門職，相談援助の理論と方法，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，公的扶助論，社会福祉援助技術現場実習Ⅰ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ，社会福祉援助		

○基本情報		
授業の目的	社会福祉援助技術現場実習Ⅱでは，利用者の理解とその家族への支援方法，施設・機関の機能と役割，職種と職務内容，援助の具体的方法，関連機関との連携，地域社会との関わりなどを学びます。そして，現場実習の達成課題の結びとして，福祉専門職者としての自らの適性を問う意味もあります。	
授業の概要	社会福祉援助技術現場実習Ⅱでは，既に講義で学んだ社会福祉の知識，理論，技術を基に，社会福祉施設の実際を学びます。また、以下の5点を学ぶことを狙いとします。 ①ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。 ②支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。 ③生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行う。 ④施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解する。 ⑤総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「実験実習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	橋本拓　社会福祉協議会、居宅介護支援センター等において、社会福祉士業務に従事	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	積極的に利用者や職員とコミュニケーションを図ることができる。			20点
【知識・理解】	社会福祉援助技術現場実習を通して，相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉士として求められる資質，技能，倫理，自己に求められる課題把握等，総合的に対応することができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	実習中の体験や援助活動を，専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。			25点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
実習態度及び実習評価票をもとに総合的に判断します。（無形成果：発表） [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 実習日誌等をもとに総合的に判断します。（提出物：レポート） [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

○その他
8月～9月にかけて、実習指導者の指導のもとで、180時間（概ね24日間）以上の実習を行う。実習期間中は、担当教員が巡回指導等を行い、実習課題に応じて指導します。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ（Fieldwork of Social WorkⅡ）	授業コード	E049401
	担当教員	橋本　拓、鍋田　耕作、河村　裕次、大谷　明弘		

学修内容

1. 実習の内容 実習生は次に掲げる事項について実習指導者による指導を受けるものとする。 ①利用者やその関係者（家族・親族、友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 ②利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の形成 ③利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握、支援計画の作成と実施及び評価	**9.**
予習	**予習**
復習	**復習**
2.	**10.**
予習	**予習**
復習	**復習**
3.	**11.**
予習	**予習**
復習	**復習**
4.	**12.**
予習	**予習**
復習	**復習**
5.	**13.**
予習	**予習**
復習	**復習**
6.	**14.**
予習	**予習**
復習	**復習**
7.	**15.**
予習	**予習**
復習	**復習**
8.	**16.**
予習	**予習**
復習	**復習**

○授業計画 | 科 目 名 | 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ（Fieldwork of Social WorkⅡ） | 授業コード | E049401
担当教員 | 橋本　拓、鍋田　耕作、河村　裕次、大谷　明弘
学修内容